

中里小学校だより

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成
～中里仲よし（共に学び、共に育つ）～

令和4年6月15日

第5号

文責 松尾美智子

6月1日「いのちを見つめる日」

6月1日に子ども達に「いのちを見つめる強調月間」を迎えるにあたって、全校集会（オンライン）で私から話をしました。



この6月は、「中里っ子いのちを見つめる強調月間」です。「いのち」について考え、周りのお友達との関わり方について考えたりします。

中里小の子ども達全員が、自分の命を守る、自分のことを大事にする子どもになってほしいと思います。そして、自分のことを大事することと同じように、友達や、自分の周りの人たちも大事にしてほしいと思っています。友達のことも大事にするということは、人に対して優しくするという事です。放送室の横に素敵な掲示があるのを知っていますか。「中里っ子 4つのやさしさ」です。4つのやさしさとは、何でしょうか。

「目は・・・人のよいところを見るために使おう」

周りの人のよいところにたくさん気づいてほしいと思います。

「〇〇さんは、こんないいところがあるんだよ。」と教えてください。

「耳は・・・人の言葉を最後まで聞くために使おう」

その人のことを知るためにも、何を伝えたいのか、しっかり最後まで聞きたいですね。そうすれば、自分の話もしっかり聞いてもらえます。

「口は・・・人にふわふわ言葉を言うために使おう」

言葉には、聞いてうれくなる言葉、嫌な気持ちになる言葉、悲しくなる言葉、いろいろな言葉があります。学習や読書でたくさんの言葉を覚えると思いますが、その言葉をどのように使うかは、自分次第です。下足室のところに、中里小「ふわふわ言葉」の木があります。この木にどんな「ふわふわ言葉」が掲示されるのか、とても楽しみです。



そして、「手足は・・・人を助けるために使おう」

先週、給食の時に、廊下にこぼれた、スープを拭いている4年生のお友達がいました。そこに通りかかった5年生が、声をかけ一緒に拭いているのを見ました。気づいてすぐに行動できる5年生、そして、「ありがとうございます」と感謝の気持ちをしっかり伝える4年生、私は、とっても嬉しくなりました。

「中里っ子 4つのやさしさ」を広げ、自分のことを大事にする、友達のことも大事にする子どもになってください。

話をした後に、感想を書いた学級がありました。その中から、いくつか紹介します。

- ・人のことを助けるのはできるかわからないけど、人の話を最後まで聞いたり、人のいいところを見つけたりすることはできると思うので、やっていきます。
- ・これからも、ここに住んでいる友達や家族にたくさんのふわふわ言葉をたくさん伝えていきたいと思います。
- ・中里小全員が、笑顔になるようにしていきたいと思っています。

6月は、学校支援会議（20日）、道徳の授業公開（3組21日・1組23日・2組24日）を実施します。保護者の皆様、地域の方々に学校に来ていただき、子ども達の様子を見ていただければと思います。